

運輸多目的衛星新1号(MTSAT - 1R)の打ち上げ成功について

先ほど、H-Aロケット7号機による運輸多目的衛星(MTSAT)新1号の打ち上げが成功したとの報告を受けました。気象庁としては「ひまわり5号」の後継機の待ちに待った誕生であり、大変喜ばしく感じております。関係者のこれまでのご努力に感謝申し上げます。

6年前の旧1号機の打ち上げが失敗したため、気象庁では「ひまわり5号」の設計寿命を越えた運用を余儀なくされていますが、米国海洋大気庁の協力の下、一昨年5月からは「ゴーズ9号」による観測を行うなどして、静止気象衛星による観測を継続して参りました。

「ひまわり5号」の後継機となるMTSATは、四半世紀を超える静止気象衛星「ひまわり」シリーズによる静止気象衛星業務を継承することに加え、観測機能や画像配信機能の強化が図られており、気象業務の一層の改善に資するものであります。

また、気象衛星による観測は、世界的な気象観測・気象衛星ネットワークの重要な柱でもあり、国際協力においても大きく貢献するものであります。

気象庁としては、今後、MTSATの静止軌道への投入、軌道上での試験等に万全を期したうえ、本年の出水期までにはMTSATの運用を開始し、台風や集中豪雨等の監視を含め、日々の気象の観測を強化したいと考えております。

平成17年2月26日 気象庁長官 長坂昂一